



地球にやさしい贈り物

買い物の精算時に渡されるレジ袋を削減し、地球環境の保全につなげようと安平町納税貯蓄組合連合会(酒井秀昭会長、加盟55組合)が麻製の買い物袋(エコバッグ)を400個を作成。早来地区、追分地区で開催されたイベントで皆さんにプレゼント。



広島に折りづるを託す
昭和20年8月6日の原爆投下から62年目を迎えた広島市に安平町から小学生と中学生5名を派遣。その出発式が8月5日に追分公民館で行われ、参加する児童、生徒とその保護者が集まりました。
早来小の千葉恵一校長が現地で学んだことを友だちに話してくださいとあいさつ。
追分花園在住の井森みゆきさんが毎年、広島平和公園に捧げるために作っている千羽づるを生徒たちに託しました。

このほか町内のすべて小中学校の子どもたちが作った折りづるを持って広島市に向かいました。
教育委員会では、広島平和式典と中学生海外派遣事業の合同報告会を行います。
子どもたちの貴重な体験レポートを多くの皆さんに聞いていただきたく思います。

広島平和式典及び中学生海外派遣事業合同報告会
日時 9月13日(木) 18時30分
会場 早来町民センター

世界大会に向けて
ドイツで開催されるITU世界トライアスロン選手権ハンブルク大会のジュニアの部に出場が決まった工藤駿選手(千歳高校2年・追分白樺在住)が8月16日に教育委員会を訪れ、豊島教育長に報告しました。

ジュニアの全日本クラスの試合で上位入賞する成績を収め、今回の世界大会に日本代表のメンバーに選ばれました。
工藤選手は、「競技は練習量でカバーできますが、8時間という時差の調整が課題の一つ。大きな舞台で自分の実力を出し切りたい」と話していました。



小学生の目線で要望

各地区の子ども会の代表14名が参加し町に対する要望や将来のまちづくりについて提言する子どもサミットが8月10日追分庁舎の議場で行われました。

町議会と同様、事前に質問項目が示され、回答する課長は小学生が理解できるように説明。公園や遊具の整備など子どもの目線での要望も数多く出されました。なお、会議の様子はインターネットで配信されました。